

令和8年度 中学校1年「高志学」

福井市郷土歴史博物館・養浩館研修

6月4日（木）午後、1年生が福井市郷土歴史博物館および養浩館研修に行きました。クラスごとに、郷土歴史博物館の常設展と特別展、養浩館を、学芸員さんの丁寧なガイドのもと見学しました。

郷土歴史博物館の常設展では、福井県の歴史を学びました。古墳時代の展示では、足羽山の古墳に埋葬されていた石の棺やその中の埋葬品から、当時の加工技術の高さや、命に対する考え方を感じていました。古墳時代は、ちょうど社会の授業で学んだ内容なので、授業での知識と合わさり、より深い理解につながったようでした。



郷土歴史博物館の特別展では、「新収品から見えてくる福井の歴史」が開催中でした。松平春嶽の書や福井の学校の卒業証書、刀など、福井の歴史を垣間見せてくれる初公開資料を、目を輝かせながらノートにスケッチする生徒の姿が印象的でした。

養浩館では、庭に作られた池である「御泉水」を見ながら江戸時代のお殿様になったつもりで少しだけリラックス。それでも学芸員さんの解説をメモする手は止めていませんでした。



学校から約20分かけて歩いてきた疲れもありましたが、終始集中し、楽しんで福井の歴史を学ぶ姿にたくましさを感じました。

事後学習では、「郷土歴史博物館や養浩館のパンフレットの一部の作成依頼が高志中学校の生徒に来た」という設定で、福井県外の歴史好きの中高生をターゲットに魅力を伝えるパンフレットを作成します。どんな作品ができるか楽しみです。